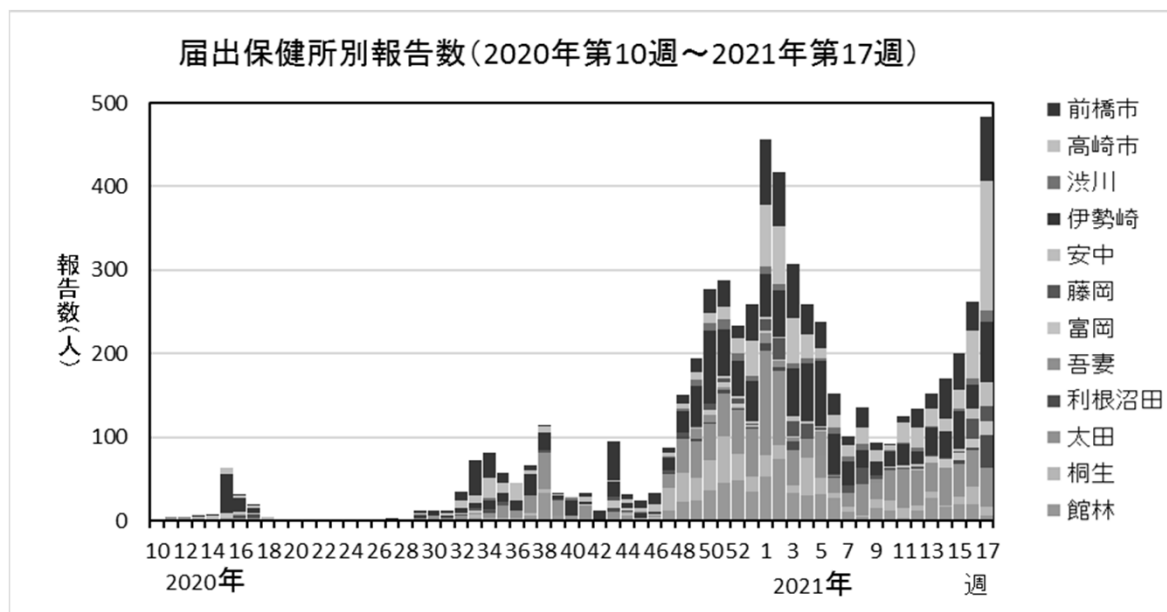
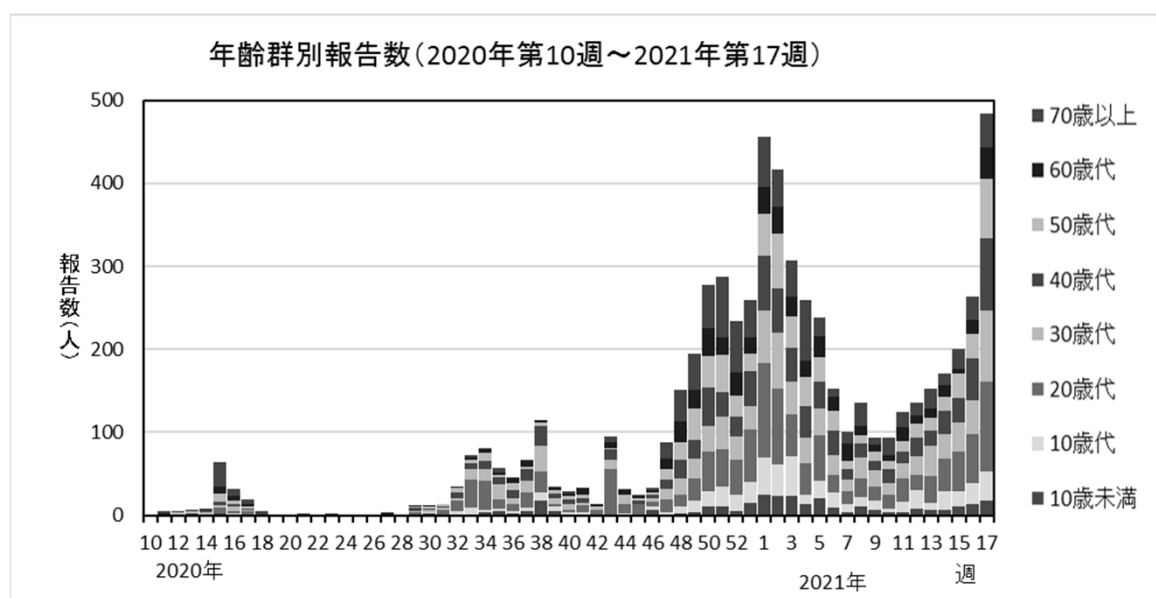


● 新型コロナウイルス感染症

- ◆ 2021年第17週（～5月2日）までの県内で報告された新型コロナウイルス感染症患者は、男性3,450名、女性2,786名、計6,236名でした。
- ◆ 4月の報告数は1,065名で、3月の報告数511名から倍増しています。届出保健所別では、高崎市が最も多く231名（22%）、次いで前橋市196名（18%）、伊勢崎180名（17%）、太田178名（17%）でした。



- ◆ 4月の年齢群別報告数は20歳代が250名（23%）と最も多く、次いで30歳代が190名（18%）、40歳代が186名（17%）でした。3月と同様、20～40歳代で報告数の約半数を占めていました。



【新型コロナウイルス感染症患者発生状況（4月30日 現在）】

県内患者発生数：6,095名 県内死亡者数：104名

国内患者発生数（感染者：厚労省発表）：586,782名

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム配列解析について(Vol.5)

1) 新型コロナウイルス N501Y 変異株 PCR スクリーニング検査結果(2021年4月30日現在)

世界的にも感染が拡大し感染性や伝播性の増加等が懸念されるなど、WHO が「懸念される変異株」として警戒を強めている N501Y 変異株の PCR スクリーニング検査が実施されており、群馬県では現在までに計 98 人が確認されている。

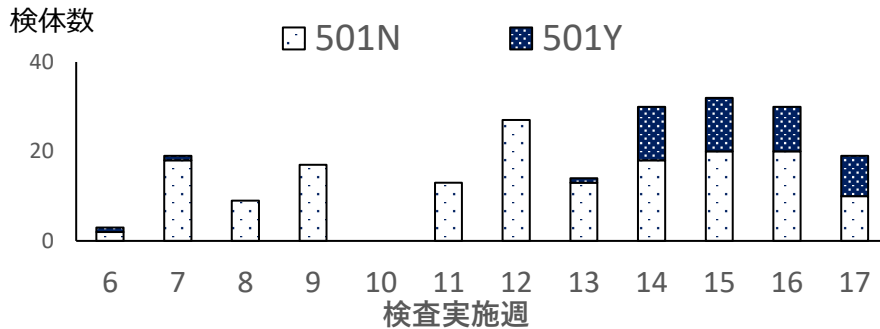


図1 衛生環境研究所で実施した N501Y 変異株スクリーニング検査結果(陽性数 46)
(県外、民間検査機関、医療機関で検査実施されたものは含まれず)

2) 新型コロナウイルスゲノム配列解析結果(2021年14週(4月5日~4月11日)まで)

群馬県衛生環境研究所では、地域における感染状況の把握を目的として、国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センターの協力のもと新型コロナウイルス SARS-CoV-2 の全ゲノム配列の解析を行っている。検体採取週における系統の時系列チャートでは、2021年6週目(2月8日~14日)までは、国内主流2系統といわれている B.1.1.284(94 検体)と B.1.1.214(45 検体)が多く検出されていた。しかし、5週目(2月1日~7日)以降は、Spike タンパク質に E484K 変異を有する Pangolin 系統 R.1(以前は B.1.1.316 に分類されていた)の検出が目立つようになっている。また、N501Y 変異株(いわゆる英国型, B.1.1.7)も7検体検出されている。

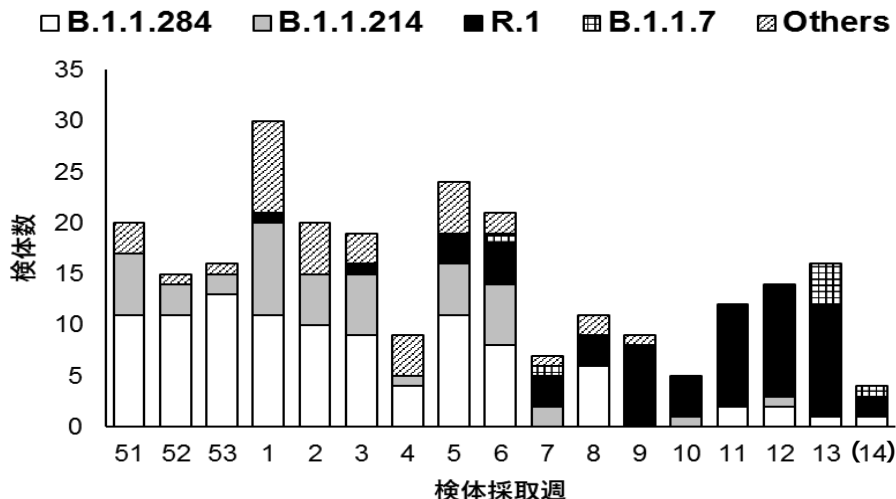


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析
(県外、民間検査機関から感染研に送付されたものは含まれず)